



金沢のホテルで、カクテルの日を祝う。オリジナルクラフトジン「郷の香」とレコードが奏でる、一週間限定のカクテルフェア開催！

提供期間：2026年5月7日（木）～5月13日（水）



URL：<https://www.tokyuhotels.co.jp/kanazawa-h/restaurant/bar/plan/141601/index.html>

金沢の中心・香林坊に佇む金沢東急ホテルでは、2026年5月7日（木）から5月13日（水）までの期間限定で、「カクテルの日」にちなんだ特別なカクテルフェアをマレ・ドール「バー」にて開催いたします。

ゴールデンウィークの喧騒が静かに引き、金沢に穏やかな夜が戻る頃。レコードの針が落とされる瞬間に生まれる柔らかなノイズと、琥珀色の液体がグラスで踊る音。そんな「静寂と音」が共鳴し、頑張った自分への静かなご褒美として、あるいは大切な方と更けゆく夜を惜しみながら語らう場として。大人たちのための、静かな余白の時間をご提案します。

■ カクテルの日とは

1806年5月13日。ニューヨーク州の週刊紙『バランス・アンド・コロンビア・リポジトリ』紙上に、ひとつの答えが記されました。読者からの「カクテルとは何か？」という問いに、編集者はこう応じました。「蒸留酒に砂糖、水、そしてビターズを混ぜ合わせた、刺激的な酒である」と。

220年の時を越えて、その定義はいまも変わりません。けれどカクテルが運ぶ感情は、毎夜バーテンダーの手によって新しく生まれ続けます。この記念日に合わせ、日本各地でカクテルイベントが開催されるなか、金沢においてもその機運は高まりを見せています。

■ オリジナルクラフトジン「郷の香（さとのかおり）」



本フェアの主役は、当ホテル監修のオリジナルクラフトジン「郷の香（さとのかおり）」。

米糠の柔らかな甘み、石川県産柚子の凛とした清涼感、能登ヒバが宿す深い森の静寂、そして剣先なんばが残すほのかな灼熱。

金沢という土地そのものを蒸留した一本であり、まさに“土地を飲む”一杯です。

口に含めば、加賀百万石の風景が静かに広がり、余韻として長く心に残ります。ジャパニーズクラフトジンの新たな地平

を拓く、その一杯は、ただ味わうだけにとどまらない、記憶として静かに残る一杯です。

今回のドリンクフェアでは、この「郷の香」を使用した5種のカクテルをご用意いたします。クラシックの名品から創作の一杯まで、カクテルファンはもちろん、クラフトジン初体験の方にも心からおすすめできるラインナップをご用意いたしました。



■ フェア限定カクテルメニュー

- ・ジンリッキー（ジン+ライム+ソーダ）

石川県産柚子の清涼感のはじけるような、夏の宵への入口。訪れる季節を先取りするような、爽快な一杯です。

- ・マティーニ（ジン+ドライベルモット）

余分をすべて削ぎ落とした、大人の正統派。「郷の香」の多層的な香味が、レコードの音色の中で研ぎ澄まされていきます。

- ・ネグローニ（ジン+スイートベルモット+カンパリ）

ビターな余韻のなかに、能登ヒバの深い木香が静かに溶け合う。夜が深まるほどにうま味を増す、この街の夜にこそふさわしい一杯です。

- ・スプリングフィーリング（ジン+シャルトリューズヴェール+レモンジュース）

五月の金沢を一杯に閉じ込めたような、花香るカクテル。移ろいやすい春の終わりを、グラスの中にそっと留めたような、儂くも美しい味わいです。

- ・アラスカ（ジン+シャルトリューズジョース）

氷河のような透明感と、内に秘めた力強い熱量。気高き名品が、金沢の夜に新たな足跡を残します。

■ 金沢のホテルバーで過ごす、音と時間を愉しむ「マレ・ドール」

本フェアの舞台となるマレ・ドール「バー」は、1960年代後半から音楽・映画・アート・舞台・出版など幅広いジャンルを手がけてきたプロデューサー／ディレクター、立川直樹氏がプロデュースした空間です。

ジャズの名演や時代を超えて愛される名曲たち。

バーテンダーが選び抜いたアナログレコードが、針を落とした瞬間から、空間に静かな時間をもたらします。

デジタルでは再現できない柔らかな音の質感が、グラスの一杯と美しく重なります。

カウンター7席のみという、親密でプライベートな空気。灯りを落とした店内は、まるで金沢の街に隠された、大人だけが知る秘密の場所のよう。旅の夜にも、日常の延長にもない、特別なひとときがここに 있습니다。



■ カクテルフェア 2026 概要

【MENU】

ジンリッキー

マティーニ

ネグローニ

スプリングフィーリング

アラスカ

期間：2026年5月7日（木）～5月13日（水）※5月12日（火）除く

場所：バー「マレ・ドール」（2F）

時間：17:30～22:00（L.O.21:30）※火曜日定休

料金：各800円

URL：<https://www.tokyuhotels.co.jp/kanazawa-h/restaurant/bar/plan/141601/index.html>

※写真はすべてイメージです。

※表示料金にはサービス料13%・消費税10%が含まれております。

※法令によりお車を運転される方、20歳未満のお客さまへのアルコールの提供は一切お断りいたします。

※食材の入荷状況により、期間の途中でも終了する場合がございます。

※食材アレルギーのある方は、あらかじめスタッフにお知らせください。

「マレ・ドール」バー 概要

カウンター7席のみの、隠れ家的なホテルバー。バーテンダーが選び抜いたアナログレコードが心地よく流れ、プライベートで優雅なひとときをお楽しみいただけます。第一級のホテル機能と「おもてなしの心」を大切にした笑顔のサービスで、旅情あふれるくつろぎの時間をお届けします。

フロア：2階

席数：7席

TEL：076-231-3913（レストラン直通）

URL：<https://www.tokyuhotels.co.jp/kanazawa-h/restaurant/bar/index.html>



金沢東急ホテル 概要

金沢の中心地・香林坊に位置し、21世紀美術館や兼六園、ひがし茶屋街、金沢城公園など主要観光地へのアクセスは抜群。金沢駅より路線バスと徒歩で約12分という好立地です。全233室の客室は、贅を尽くしたロイヤルスイートからゆとりあるシングルルームまで、快適さと機能性を兼ね備えています。「温故知新のおもてなし」をテーマに、古都金沢の伝統と現代の洗練が融合したラグジュアリーな空間で、非日常のひとときをお楽しみください。



所在地：〒920-0961 石川県金沢市香林坊2-1-1

内容：部屋数233室、レストラン、ラウンジ、バー、宴会場5ヶ所

アクセス：「金沢駅」から路線バスで10分「香林坊アトリオ前」下車、徒歩2分

「金沢駅」からタクシーで6分

TEL：076-231-2411（代表電話）

URL：<https://www.tokyuhotels.co.jp/kanazawa-h/index.html>

本件に関する取材・お問い合わせ先

金沢東急ホテル 広報・宣伝 益江（ますえ）、山崎（やまざき）

TEL：076-231-3912(宴会事務所直通) FAX：076-265-6481

メール：益江（ますえ）Mail：a.masue@tokyuhotels.co.jp